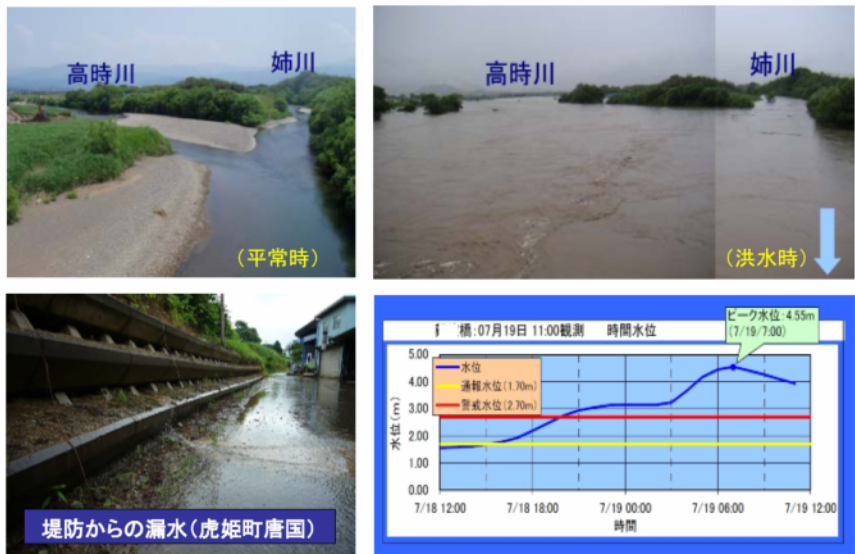


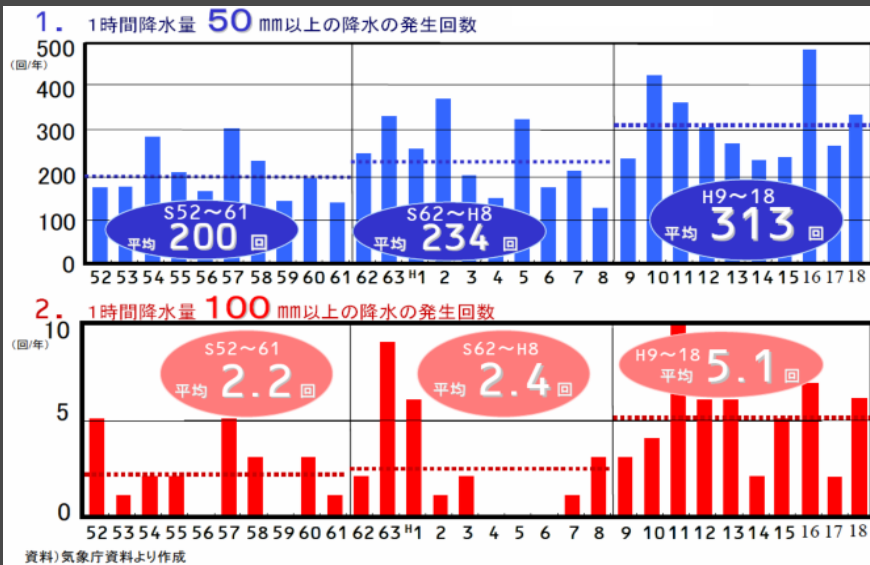
～平成18年7月 姉川・高時川の出水状況～



姉川、高時川合流部難波橋観測所で危険水位を突破。

近年の豪雨災害の特徴 集中豪雨の頻発

気象変動、地球温暖化、ヒートアイランド etc.



近年の豪雨災害の特徴

都市型水害

1999・2003年 福岡水害



都市機能の麻痺
経済活動の停止
地下施設への浸水

2000東海豪雨災害



莫大な経済被害
ケタ違いの災害ゴミ

近年の豪雨災害の特徴

中小河川の水害

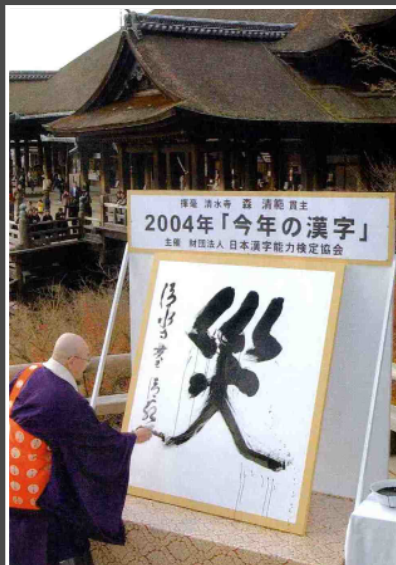
雨の降り始めから堤防決壊まで、事態の進展が非常に速い

中小河川の特徴

急勾配で流れが速い
降雨による流量変動が急激で大きい
一級河川と比較して整備率が低い



2004年(H16年)は防災行政転換の年



主な豪雨災害

()の数値は死者・行方不明者数 (H17.3月現在)

- 6月 台風4号・6号 (5)
新潟・福島豪雨 (20)
- 7月 福井豪雨 (5)
台風10号・11号及び関連する豪雨 (3)
- 8月 台風15号と前線に伴う大雨 (3)
台風16号 (14)
台風18号 (45)
- 9月 台風21号と秋雨前線に伴う大雨 (27)
- 10月 台風22号 (9)
台風23号 (98)
- 11月 11月11日～12日にかけての大雨 (1)

主な地震等 ()の数値は死者・行方不明者数

- 9月 紀伊半島沖を震源とする地震
東海道沖を震源とする地震
- 10月 新潟県中越地震 (46)
- 11月 スマトラ島沖地震・インド洋津波
(230,000超)

13

高まる情報ニーズ

防災スピーカー、サイレンなどを設置して危険を早く知らせてほしい。
とにかく何も連絡なし。動けませんでした。(三条市民)

避難勧告などが全く無く、情報が少なく、どう行動をとっていいのか
分からなかった。(三条市民)

避難勧告が2時間前に出ていれば、各家庭の3分の2は、車は絶対に
大丈夫だったと思う。私の家でも車は2台だめ。(中之島町民)

浸水が進んでも避難勧告がなく、避難できなかった。市の責任は重い。
(三条市民)

「平成16年7月新潟豪雨災害に関する実態調査」フリーアンサーより

14

住民避難対策の推進

豪雨災害対策緊急アクションプラン (国土交通省)

送り手から受け手情報への転換を通じた災害情報の提供の充実

- ・ 中小河川における洪水予測等の高精度化
- ・ 受け手の判断・行動に役立つ河川等情報の提供
- ・ 受け手に情報が確実に伝わるための体制整備

平常時からの防災情報の共有の徹底

- ・ 浸水想定区域等の区域指定の拡大
- ・ ハザードマップの全国的緊急配備
(中小河川での浸水想定区域・ハザードマップの指定・公表の義務化、
水防法の改正、土砂災害警戒区域指定の全国展開)
- ・ 水害等に適合した避難場所の総点検への支援

地域の防災対応力の再構築

- ・ 災害時要援護者への対応
- ・ 水防活動等の体制強化
- ・ 地下空間における避難誘導體制の構築

15

住民避難対策の推進

水災防止体制のあり方研究会 (国土交通省)

浸水想定区域を指定する河川の拡大や警戒避難体制の充実
について検討

洪水ハザードマップによる、事前の住民に対する浸水危険度の
周知徹底の方策について検討

住民避難対策の推進

集中豪雨時等における情報伝達 及び 高齢者等の避難支援に関する検討会 (内閣府)

「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」の策定 (H17.3)

「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」の策定
(避難準備情報の新設) (H17.3)

16

積極的な情報開示が意味すること

進む災害情報伝達の体制整備

- 平時：洪水ハザードマップ
平時において地域の洪水危険度情報の開示
- 災害時：避難情報の充実化
個人と地域に対して高まる避難に関わる責任

背景が重要!

災害発生時、行政の力だけでは住民を守りきれない。

災害発生時に命を守るのは自分自身

17

災害を住民はどのように捉えているのか?

防災スピーカー、サイレンなどを設置して危険を早く知らせてほしい。
とにかく何も連絡なし。動けませんでした。(三条市民)

避難勧告などが全く無く、情報が少なく、どう行動をとっていいのか
分からなかった。(三条市民)

浸水が進んでも避難勧告がなく、避難できなかった。市の責任は重い。
(三条市民)

「平成16年7月新潟豪雨災害に関する実態調査」フリーアンサーより

避難勧告が無かったから避難できなかった?

18

住民の過剰な情報依存体質・行政依存体質

行政

防災施設の整備・住民避難対策の推進

住民

過剰な行政依存・情報依存

- ・・・「行政が住民を災害から守ってくれる。」
- ・・・自らの命までも行政に委ねる
- ・災害時の住民の対応行動
 - ・・・行政からの指示待ち状態
 - 自らの判断で意思決定ができない

何が問題なのか

「自分の命を自分で守る」という根本的な認識の欠落
相手は自然、住民を災害から守りきれない行政の実態
さらなる情報伝達体制の整備が招く、さらなる依存

19

地域防災力とは何か?

20